

札幌市における環境的に持続可能な交通 (EST) モデル事業 ～ さっぽろ都心交通計画推進事業 ～

1) 事業概要

事業内容 : 「さっぽろ都心交通計画」の推進
事業期間 : 平成17年度～平成19年度

『さっぽろ都心交通計画』の概要

■ 計画目標

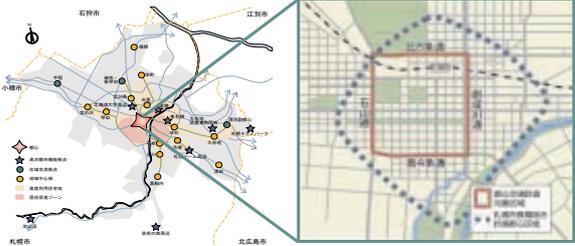
- ・人と環境を重視した新しい時代の都心交通の創出
- ・都心の活性化に寄与する交通施策の推進

■ 取組施策例

パーク&ライド駐車場の活用
(都心アクセス機能の向上)



■ 対象エリア



札幌都心部



「ドニチカカップ」



「ドサンこバス」
みほん
大人300円



札幌周辺公共交通案内「えきバス・ナビ」
(公共交通の利用促進)



北3条通の広場化
(道路空間の再配分)



路上荷さばきのルール化
(荷さばき対策)

2) 対象施策の取組

1 路外荷さばき施設の確保

民間運送事業者による路外荷さばき施設設置の支援
⇒ 荷さばき車の走行台キロの削減
⇒ 施設周辺道路の旅行速度向上



荷さばき駐車場



ミニデポジット

2 タクシー客待ち環境改善

停車中のアイドリングストップの実施
隔地タクシープールによる路上客待ちの削減
⇒ 燃料消費量の減少、乗り場周辺の旅行速度向上



隔地タクシープール (H18 実験)



アイドリングストップの啓発 (H19)

3 路上駐車対策等による交通流円滑化

路上駐車防止等の駐車対策の実施
⇒ 都心内走行台キロの変化
⇒ 路上駐車減少路線の旅行速度向上



違法駐車防止キャンペーン (H18)



札幌都心共通駐車券

3) CO₂ 排出量の H18 削減実績(試算)

施策	年次	平成18年度削減実績
1 路外荷さばき施設の確保	路外荷さばき駐車場	約 12 t-CO ₂ (365日分)
	ミニデポジット	約 14 t-CO ₂ (365日分)
2 タクシー客待ち環境改善	隔地タクシープール	約 1 t-CO ₂ (14日分)
	アイドリングストップの啓発	約 2 t-CO ₂ (14日分)
3 路上駐車対策等による交通流円滑化	改正道路交通法施行等	約 680 t-CO ₂ (214日分)

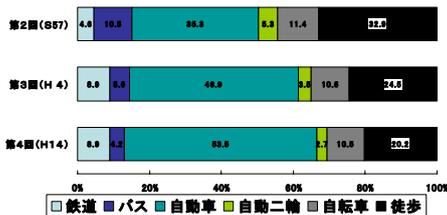
仙台市における環境的に持続可能な交通(EST)モデル事業

事業概要

仙台市は公共交通を重視した総合交通体系の構築を目指すアクセス30分構想を策定し、公共交通による移動時間短縮や公共交通サービス向上、TDMを推進することにより、軌道系交通機関を軸とした集約型市街地「コンパクトシティ」の形成や杜の都にふさわしい緑美しい都市「百年の杜づくり」の実現を目指している。

増大する自動車利用

代表交通手段の推移(仙台都市圏)



代表交通手段構成(仙台都市圏パーソントリップ調査)

目標

平成19年度までに
対象エリアのCO2排出量を
8,524 ton削減

- ・渋滞解消による旅行速度の向上
- ・渋滞解消及び低公害車両導入等によるCO2排出量の削減

ESTモデル事業実施施策 平成17年度～平成19年度

仙台市



- **新駅設置**
 - JR東北線(仮称)南長町駅
- **既存軌道系関連道路等整備**
 - ・アクセス道路の整備
 - 長町折立線(土手内) ほか
 - ・駅前広場の整備
 - JR東北線南仙台駅(東口) ほか

- **啓発事業**
 - ・ポスターの作成・掲示
 - ・ステッカーの作成・配布
 - ・ホームページでのEST事業紹介
 - ・各種イベントにおける啓発活動

- **オムニバスタウン計画その他のソフト施策**
 - ・仙台市オムニバスタウン計画
 - バスロケーションシステム, 都心部バス100円均一運賃制度 ほか
 - ・その他のソフト施策
 - 低床CNGバス, 低床アイドリングストップバスの導入 ほか
 - ・ITSによる円滑な移動の支援
 - ・市民や地元企業と連携した通勤交通需要マネジメント
 - P&R, 時差通勤通学等
 - ・自転車ルール・マナー啓発による利用環境向上

- **渋滞の緩和**
 - ・幹線道路の整備
 - 北四番丁岩切線(幸町) ほか
 - ・交差点の改良
 - 国道48号木町通交差点
 - ・路上工事の縮減
- **景観・緑化事業等**
 - ・電線共同溝に併せた歩道整備
 - 国道45号(原町地区等)
 - ・緑化によるCO2削減
 - 国道4号(東二番丁) ほか
 - ・共同溝事業
 - 国道45号仙台東部共同溝

人にも地域にも地球にもやさしい 環境交通のまち あらかわ



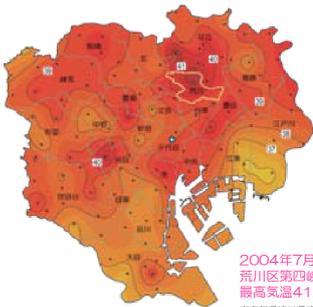
荒川区は、公共交通の更なる利用促進を図り、自動車に過度に依存しない事業活動やライフスタイルへ移行することにより、二酸化炭素(CO₂)の排出を抑制し、将来にわたって、環境的に持続可能な「環境交通のまち・あらかわ」の実現を目指します。

なぜ、荒川区で「環境交通」か？

荒川区は、都電をはじめとして公共交通網が充実しています。また、地形が平坦で歩きやすく、自転車にも乗りやすい地域です。

反面、土地は低く、地球温暖化による海面上昇の影響をとっても受けやすい地域です。都市のもう一つの温暖化であるヒートアイランド現象も顕著で、気温30度を超える日数が23区で最も多く、熱帯夜の日数も多いという調査結果が出ています。

地球温暖化対策としてのCO₂の削減やヒートアイランド対策としての車からの排熱抑制など、荒川区が率先して「環境交通」に取り組む意義は大いにあります。



目標達成指標

- 平成19年度
重点地域(汐入地域)における自動車利用率
対前年度比0.5%削減
- 平成20年度
運輸部門におけるCO₂排出量 対前年度比1%削減
- 平成21年度
運輸部門におけるCO₂排出量 対前年度比1%削減

平成19年度 実施事業

- ・区民対象の交通行動実態把握調査
- ・環境交通イベントの開催
- ・環境交通リーフレットの配布



- ・小中学校における環境交通学習会
- ・歩いて楽しいまちづくりワークショップ

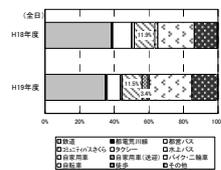


- ・コミュニティバスさくらの一部区間逆ルート運行
(重点地域外：H19.12.30運行開始)

(達成度)

交通手段のうち、自動車の占める割合(重点地域)

	H18年度	H19年度	増減
全日	11.9%	自走 11.5% 送迎 3.4%	3.0%増加
平日	8.0%	自走 8.5% 送迎 2.4%	2.9%増加
休日	21.2%	自走 19.6% 送迎 5.9%	4.3%増加



荒川区をはしる公共交通機関



つくる・つなぐ・つむぐ

「環境交通のまち・あらかわ」の実現に向けて取組を進めるため、まずは人口の増加などにより地域の変化が大きい汐入地域を重点地域としてモデルをつくり、更に、区内の他の地域とつなぎ、区全域で環境交通政策をつむいでいきます。

平成20・21年度 予定事業

重点地域(汐入地域)

- コミュニティバスの新ルート導入
- モビリティ・マネジメントの実施
- カーシェアリングの導入促進
- 魅力ある道路利用(イベントの開催等)



尾久橋と平行してはしる日暮里・舎人ライナー



区全域

- 駅のバリアフリー化・駅前整備
- モビリティ・マネジメントの実施
- 低燃費・低公害車の導入促進
- 駐輪場の設置・整備
- コミュニティバスの新ルート導入

- 鉄道の新ルート運行
- カーシェアリングの導入促進
- エコドライブの促進
- 自転車マナーの向上



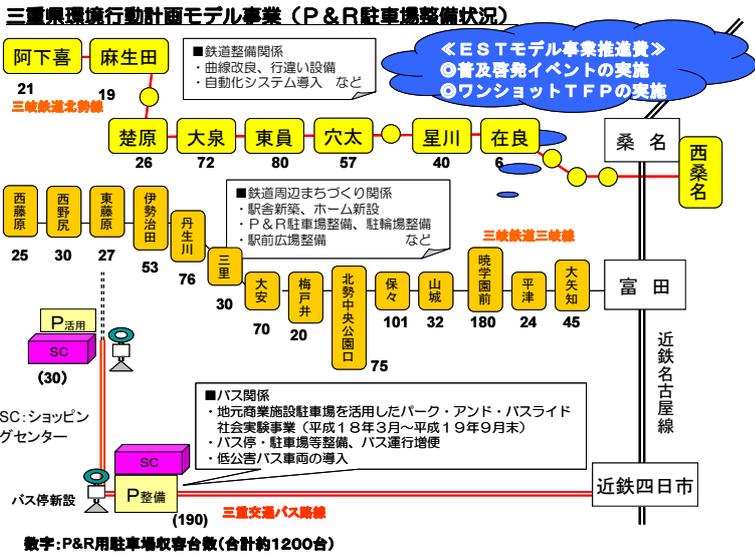
環境行動計画モデル事業（三重県北勢地区）

鉄道整備・駅周辺整備事業と連携し、鉄道・バス利用者の利便性を高めながら、集中的に**普及啓発**や**パーク・アンド・ライド**を実施することにより、環境負荷の小さい交通への転換を促す。さらに、その方法の検証と地域交通計画を提案し、実践活動の定着と拡大を図る。
対象エリア：三重県北勢地区（四日市、桑名、いなべ、東員）

目標

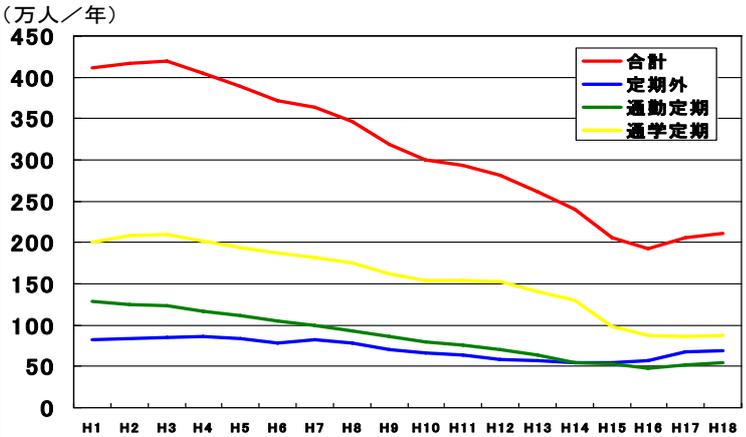
平成19年度までに対象エリアCO2排出量を
年間273t-CO2削減（事業実施前との比較）

- 主な連携事業**
- **三岐鉄道（北勢線）整備事業**（H15近鉄からの譲受後）
 - ・沿線市町が、各駅に無料P&R駐車場を整備
 - ・鉄道会社が、駅の統廃合、曲線改良、行違い設備の整備等で、増便とスピードアップ
 - ⇒ H17年度乗車人員 **7%増**（対前年比）
 - H18年度乗車人員 **2%増**（対前年比）
 - ⇒ P&R駐車場利用率 平均100%超（H19.6）
 - **地元商業施設駐車場を活用したパークアンドバスライド**（H18. 3/1～H19. 9/30）
 - ・四日市市内2カ所のショッピングセンター駐車場で実施。うち1カ所には、駐車場内にバス停を新設し、近鉄四日市駅まで直行バスを平日朝4便運行
 - ・直行バスには、CNGバスを使用
 - ⇒ 利用申込み者数 **19名**（H19. 3月末実績）



三岐鉄道（北勢線）輸送人員の推移

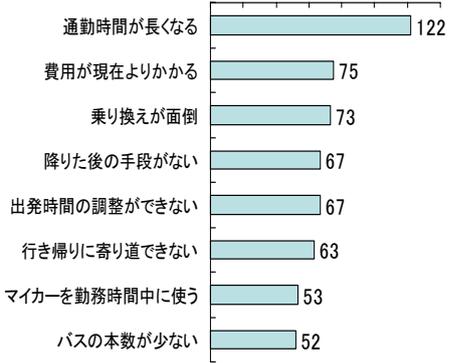
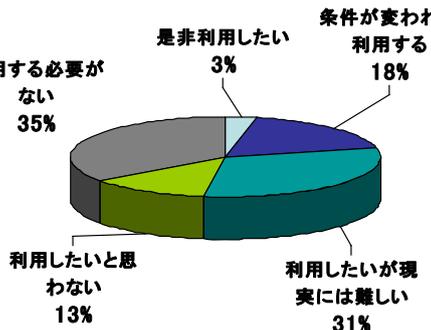
平成17年度から**増加**に転じる（H15年4月近鉄から譲受）



地元住民を対象とした意識調査ワンショットMM結果（平成18年度）

Q. パーク&ライドを利用したいと思うか？ Q. パーク&ライド利用が困難・不可能な理由は？

⇒パーク&ライド実証実験の取り組みについて**認知度はある(50%超)**ものの、**利用の意向は少なく**、移動時間の増加、安価な駐車場の確保、イグレス（職場への交通手段）の問題、自由度、便数が利用上の条件・課題として挙げられた。



広島市の「環境的に持続可能な交通(EST)モデル事業」について

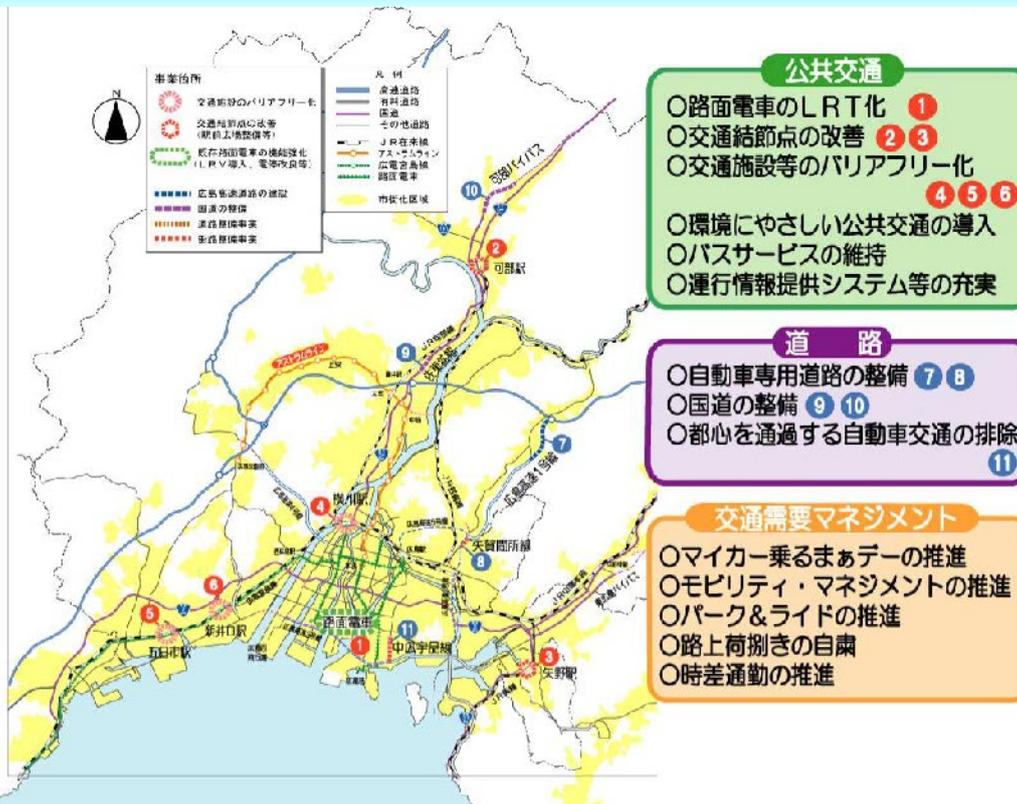
テーマ：【広島における「ひと」・「環境」にやさしい交通体系づくり】

平成16年6月に策定した「新たな交通ビジョン」では、自動車に過度に依存するこれまでの交通体系を見直し、道路と公共交通の持つそれぞれの役割を考慮しつつ、交通体系の軸足を公共交通にシフトしていくことで、人・環境にやさしく、都市の活力を高める交通体系をめざしている。こうしたことから、当該モデル事業では、「ひと」・「環境」へのやさしさに着目した事業の推進を図るものである。

目標

CO₂排出量を
2,010 t-CO₂削減
(平成18年度、平成19年度の合計)

事業概要



(施策例)



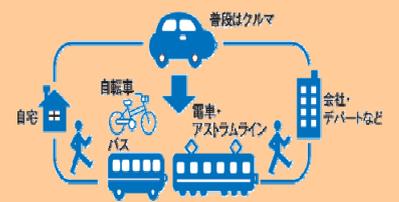
グリーンムーバーMAX
(国産初の完全超低床式路面電車)



CNGバス



広島高速1号線延伸



マイカー乗るまあデーの推進

福山市における環境的に持続可能な交通(EST)モデル事業

事業概要

一福山都市圏交通円滑化総合計画におけるソフト主体施策の実現化一

- ◇ピーク時の交通渋滞緩和とCO₂削減を主目的として、環境的に持続可能な通勤交通形態の選択(時差出勤、相乗り、手段変更など)を住民・企業が連携して取組む即効的かつ継続可能なソフト対策のシステムを構築する。
- ◇さらに、都市圏中心部における公共交通機関利便性向上施策、住民の交通行動変容を促す施策等を支援的に実施する。

主体施策

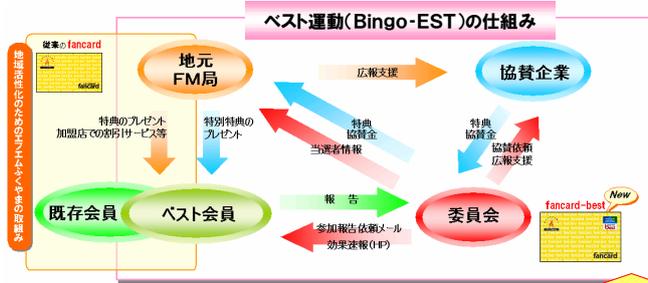
平成17年度～

ピーク時渋滞緩和を行うための主体施策としてノーマイカーデーを中心とした通勤交通対策等を実施。

2006(H18)年1月 備後のCO₂削減『ベスト運動』

Bingo Environmentally Sustainable Transport
(備後地域における) (環境に配慮した) (持続可能な) (かしこいクルマの使い方)

月に1回以上 自由な方法で エコ通勤



①ベスト会員(市民)

- ・月に1回以上 エコ通勤
- ・ベスト運動への参加状況を報告
- ・抽選でプレゼント

楽しみながらエコ通勤を継続

②協賛企業

- ・企業の社会的責任(CSR)
- ・参加者特典原資となる協賛金出資
- ・従業員への運動告知

地域・社会貢献とその広報効果

③委員会(行政)

- ・仕組みづくりと検証改善
- ・会員確保、参加増に向けた広報実施
- ・運動全体のマネジメント

渋滞緩和と環境改善の達成

④地元FM局

- ・既存の特典運用システム
- ・既存FM会員への運動告知
- ・地域の活性化に寄与

会員増加 中心市街地再生

公共交通機関利便性向上施策

公共交通機関利便性向上を支援する
レンタサイクル事業(福山駅南有料自転車駐車場)

交通結節改善を目的とした
福山駅前広場整備事業

支援

住民の行動変容を促す施策

平成17年度
学校教育における環境問題と交通をテーマにした
TFP調査(駅家西小学校)

▲ 小学校TFP調査

平成18年度
Webを活用した交通行動変容システム
「おでかけ ふくやマップ」構築

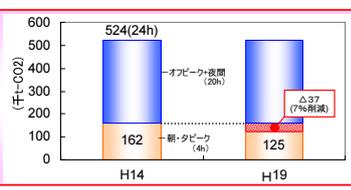
▲ おでかけ ふくやマップ
<http://odekake.fukuyamap.jp>

平成19年度～
ベスト運動(Bingo-EST)の会員拡大ツールとして活用
【地域MMへの展開】
・企業・居住地・小学校TFP

目標

CO₂排出量 7%削減(H14比)

H14CO ₂ 排出量	524千t-CO ₂ /年
H19年度(ピーク時)	37千t-CO ₂ /年削減



松山市における環境的に持続可能な交通(EST)モデル事業 ～松山市まちづくり交通計画の推進～

事業概要

松山市は、今後の少子高齢化や環境問題に対応し、都市活力向上と持続可能な都市を構築するため、中心市街地において、「歩いて暮らせるまちづくり」構想を策定し、これを支えるため、

1

自動車交通の円滑化

交差点改良などの道路整備により、自動車交通の円滑化を進めています。

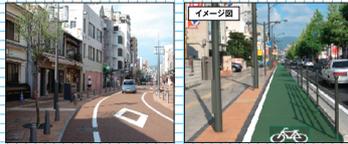


小坂交差点立体化 松山外環状道路インター線
(出展) 国土交通省資料

2

自転車の利用促進

自転車利用に適した地形や気候を生かし、快適な自転車走行空間の創出等自転車の利用促進を進めています。



ロープウェイ街 平和通り

3

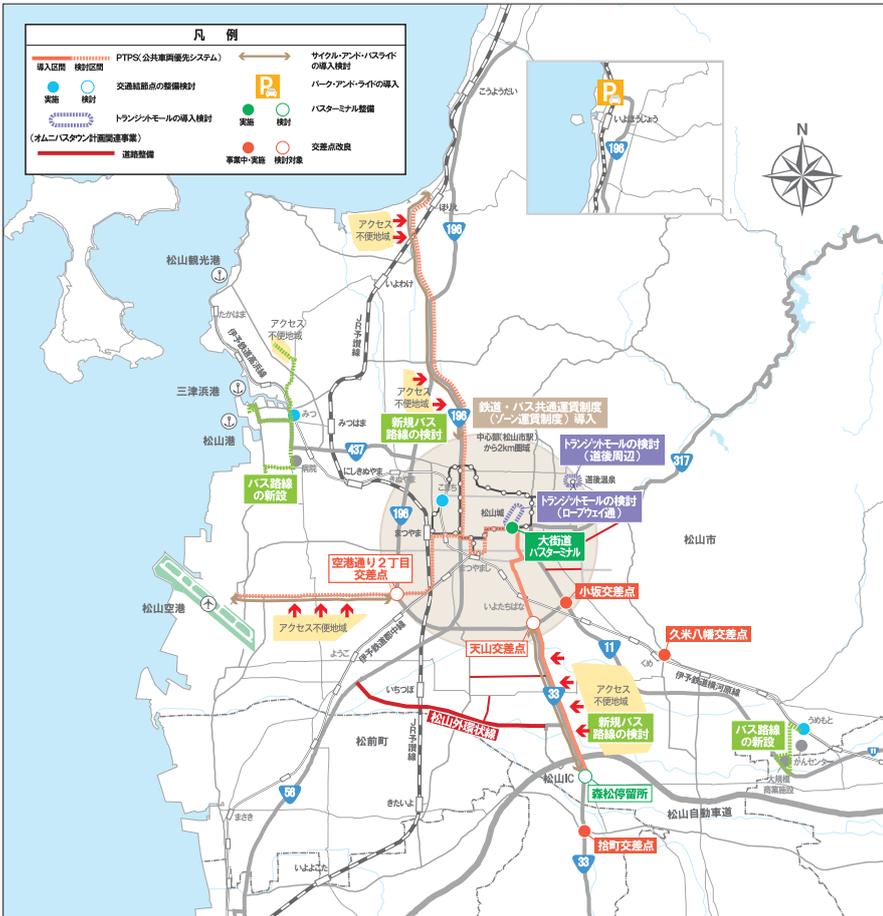
公共交通の利用促進

公共車両優先システム(PTPS)や低公害バス(CNGバス)の導入や、ハイグレードバス停の整備などにより、公共交通の利用促進を進めています。



CNGバス 梅本駅交通結節点整備

を柱としたマルチモーダルな交通体系の構築を目指しています。



個別施策

- 本数増便(朝クラッシュ時・昼間時・終発延長)の検討
- 生活交通バス路線の維持
- 快速バスの増便(砥部線・北条線)
- ICカード導入
- 鉄道・バス共通運賃制度の導入検討
- ノンステップバス導入拡充
- 低公害バスの導入
- 体系的な旅客案内システムの構築
- バスロケーションシステムの拡充
- 低床式LRTの導入
- 小学生の環境学習
- etc...

その他啓発活動

IT技術を活用したモビリティ・マネジメント、環境学習の実施など、環境に対する市民の意識啓発活動を実施しています。

[WEBモビリティマネジメント]

GPS携帯電話とインターネットを用いた
トラベル・フィードバック・プログラム

GPS携帯電話で詳細な交通行動データを収集



WEBサイトで交通行動を診断・環境にやさしい交通行動等を提案

